

市議会だより

大月市

令和7年11月30日発行 No.180

特 集

意見交換会

大月市内での農作物の生産について

CONTENTS

- ・特集【意見交換会】
ふるさと納税農作物返礼品生産者×市議会
..... P. 2～
- ・令和7年第4回（9月）市議会定例会
（主な議案の内容） P. 4～
- ・決算審査特別委員会 P. 6～
- ・議決結果等一覧表 P. 8～
- ・代表質問／一般質問 P. 9～
- ・議会日誌 P. 16～

ザクロ収穫作業の様子

大月石榴プロジェクト

遊休農地の解消のために十数名でプロジェクトを立ち上げた。美容面など、ザクロの健康効果が注目され、希少性もあるため生産を始めた。



さんちゃんファーム株式会社

シャインマスカットを中心に生産し、今後は新品種も展開する予定。返礼品の主力商品として注目や需要が高いが、「大月市でブドウはできない」と言われてきたことへの挑戦の気持ちも込めて生産を始めた。



奈良子谷の農家吾庵

県の獣害柵設置の事業をきっかけに、耕作放棄地解消と農地保全のために栗の生産を始めた。栗を選んだのは、比較的生産に手間がかからず、渋皮ごと剥ける新しいぼろたんという品種であったため。



藤本ファーム

猿橋町小篠地区では以前キウイを生産しており、手入れされていないキウイの柵を引継いだ。柵に高さがあり、比較的獣害も少ないことから生産を始めた。



・シャインマスカット 三枝さん
・同じ作物でも、標高や気象で管理の方法が変わります。地域ごとに土の性質も変わるので、土壌改良に時間と費用がかかりますし、生産から出荷までスピーディーさを求めると人手が足りないです。

特集

「大月市内での農作物の生産について」

ふるさと納税農作物返礼品生産者 × 市議会

総務産業常任委員会では、令和7年10月30日に「大月市内での農作物の生産について」をテーマに、ふるさと納税の返礼品として農作物を提供していただいている生産者の方々と意見交換を行いました。



生産者の方々

- ・大月石榴プロジェクト 薦木秀雄 氏
- ・大月石榴プロジェクト 小俣喜昭 氏
- ・さんちゃんファーム株式会社 三枝栄一 氏
- ・奈良子谷の農家吾庵 小高正文 氏
- ・藤本ファーム 藤本弘毅 氏

市議会（総務産業常任委員会）

- ・奥脇一夫 委員長
- ・鈴木竜児 副委員長
- ・藤本 実 委員
- ・山田政文 委員
- ・相馬 力 委員
- ・鈴木基方 委員

返礼品として出品して良かった点や生産の課題は

ザクロ 小俣さん

・返礼品として登録できたことは良かった。出品して間もないので、今は安定生産と加工品や商品提案に取り組んでいるところです。生産者も少なく、技術支援を受ける場が少ないのは苦労しています。

シャインマスカット 三枝さん

栗 小高さん

・個人で生産していて、徐々に生産を増やしている状況です。糖度を上げるための冷蔵庫や、機械の導入はしたいのですが、費用の個人負担が大きいです。



キウイ 藤本さん

・返礼品に登録したことで売るものを作るという意識が高まって、土壌づくり、剪定、摘果など一つ一つの作業がより丁寧になりました。



収入を得ながら生産を継続するためには

シャインマスカット 三枝さん

・圃場を集約して一体的に整備し、観光と連携する。収穫体験や直売などにもつなげて、生産性・景観・観光効果を同時に高めて行くことが必要ではないかと思う。一体的な整備で管理などの費用も抑えることができるので、その分は収益となります。

・5年後10年後のふるさと納税の目標額や、全体に占める農作物の割合など、行政として現実的な数値目標の設定も必要ではないかと思っています。

どのような支援が有効か

ザクロ 蔦木さん

・農業指導や技術支援を受ける場が少ないです。農業技術機関に問い合わせても返答に時間がかかることもあるので、窓口を市で一本化したり、追跡対応などを強化してもらいたいです。

シャインマスカット 三枝さん

・人手不足解消のために、農業分野でも外国人材の活用が始まっています。農業協力隊や、外国人材の活用も含めて受け入れ体制を整備してもらいたいです。

栗 小高さん

・草刈り機などの機械や冷蔵庫や保存庫など、設備が高額なので購入補助や共同導入などを支援してもらいたいです。

キウイ 藤本さん

・獣害柵を設置しても、その後の維持管理が大変です。継続的な市の支援が必要だと思っています。

委員長のまとめ

市内に耕作放棄地が増え荒れた田畑が広がっているが、農地の景色が変われば大月の景色は変わると思っている。何年先になるかは分からないが、「大月市を農作物で引っ張っていく」そのため「自分が大月を変えるんだ」という強い思いを持って、お互い頑張っていきたい。

将来像や提案についての主な意見

- 圃場集約・一体整備で生産性・景観・観光効果を向上
- 市内生産を増やし共通返礼品依存を低減
- 瞬間冷凍・長期保存・加工で利益の平準化
- 作業ピーク時の人材協力の仕組み
- 品目ごとのロードマップと生産の数値目標の設定

生産者の方々



こんな事が決まりました

8月27日～9月24日（29日間）

今定例会の議案



市長提出

- 条例案件：4件
- 補正予算案件：5件
- 決算認定：8件

議会提出

- 請願：2件
- 意見書案：2件

主な議案の内容

条例

◎大月市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件

消防団員の処遇改善に係る取組み。出勤報酬等を改正しました。

・消防団員の処遇改善に係る取組みとして、団員の出勤報酬等を改める必要があることから所要の改正を行い、団員が職務に従事した場合の報酬額等の引き上げが行われます。団員報酬は、年額1万円から年2万円に引き上げられます。

予算（補正）

◎令和7年度 大月市一般会計補正予算（第4号）

歳入

・学童クラブ整備事業

○子ども・子育て支援施設整備交付金（国）

1、180万円

○山梨県児童厚生施設等整備費補助金（県）

1、180万円

○ふるさと大月応援寄附金

4億円

歳出

○初狩地区子育て応援施設整備事業（学童クラブ・保育所整備事業）

3億5、640万円

○農業基盤整備促進事業

2、384万円

○商工業団体等活性化支援事業

5、000万円

請願

◎学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

・趣旨を認め全会一致で採択とし、意見書を関係省庁に送付する事とした。

◎訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書

・趣旨を認め全会一致で採択とし、意見書を関係省庁に送付する事とした。



常任委員会の様子

●総務産業常任委員会

消防団員の報酬について

(警防課)

Q 報酬改定について、消防団との協議はどのように行われ、納得を得ているか。

A 今回の報酬改定は財政協議に基づくもので、消防庁長官通知（令和3年4月）によるものです。報酬額3万6、500円を基準としておりますが、消防団との協議は行われず消防本部独自で予算計上しました。

消防団再編の状況について

(警防課)

Q 消防団再編の現状は。

A 正副分団長会議で具体

的な部の削減案と条例定数の削減案を提示しており、各分団にその再編について協議してもらっている段階ですが、現状維持や削減・統合は難しいという考えが多いという報告を受けております。



育児休業制度の改正について

(秘書広報課)

Q 会計年度任用職員も対象になるのか。

A 会計年度任用職員も同様の体制を取れるようにしています。

Q 育児休業の取得の権利と給与の支払いはどうなっているか。

A 職員の育児休業に關しましては、最大、子が

3歳になるまで取得可能となっております。育児休業中は給与の支給はありませんが、共済組合から180日間は給与の67%、その後は1歳に達するまでは、50%が手当金として支給されます。

●社会文教常任委員会

猫の不妊・去勢手術や地域猫活動支援について

(市民課)

Q 不妊・去勢手術の状況や地域猫活動支援の内容は。

A 猫の不妊・去勢手術、約20件程度の申請増加に対応しております。地域猫活動支援は、自治会、また自治会の了承を得たボランティア

団体を支援対象団体として想定しており、保護管理費や交通費、啓発費等その他の必要経

費について活動を支援していきます。



初狩保育所・学童クラブ整備について

(子育て健康課)

Q 定員規模縮小で建設費が下がるのではないか。

A 定員を縮小した場合でも保育室面積以外の必要面積は大きく変わらず、事業費の削減効果は限定的と考えます。

Q 発達に配慮が必要な子供や医療的ケア児へはどう対応していくのか。

A 専用スペースを設けたり、保育士にも看護的な専門知識が不足していると思われるので、専門の医療機関と話をしながら対応できる体

制を構築していきたいと考えております。

おめでとうございます

萩原剛議員へ、総務大臣より感謝状が贈呈され、記念品も授与されました。

◆令和7年度
総務大臣感謝状



はぎわら つよし
萩原 剛 議員

令和6年度決算を認定



委員長
すずき もとかた
鈴木 基方



副委員長
やまだ よしかず
山田 善一

令和6年度

決算審査特別委員会

委員長報告（要旨）

付託されました8案件を審査するため、9月17日、18日、19日の都合3日、委員会を開催いたしました。

審査の経過といたしましては、監査委員から決算の概要について説明を受けた後、課等部署別の審査とし、担当部課長等から説明を受け慎重に審査を行いました。審査終了後、各決算認定別に採決を

行い、「認定第2号令和6年度大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件」から「認定第8号令和6年度大月市下水道事業会計歳入歳出決算認定の件」までの7会計については、全会一致で原案のとおり認定するものと決しました。

また、「認定第1号令和6年度大月市一般会計歳入歳出決算認定の件」については、賛成多数で原案のとおり認定するものと決しました。

審査の過程で、各委員から多くの意見が出されましたが、主なものを上げます。

1点目は、インフラの維持・管理についてであります。本市においてもインフラの老朽化は確実に進行しております。国の予算の先行きが見えづらく、市単独費用での対応は厳しいところですが、水路及び道路の維持・管理・修繕に問題意識を持ち、適切な予算を確保し、今後の対応に取り組んでいただきたいと思います。

2点目は、DXの推進についてで

あります。昨年10月に特命推進課が設置され、庁内におけるDXの推進について、各課等のヒアリングを行うなどした成果が徐々に見え始めておりますが、今後もAIなどを活用し、業務の効率化、住民サービス向上に、より一層取り組んでいただきたいと思います。

3点目は、ふるさと納税についてです。令和6年度の寄附額は前年度と比較すると、9,000万円ほど増え、貴重な収入源となっ

ております。返礼品の目玉となるような大月市の特産品開発など、今年度以降も寄附者、寄附金が増えるよう期待いたします。

以上、これらの意見を今後の行政運営に反映させることをお願いし、決算審査特別委員会の報告とさせていただきます。

※決算状況の詳細は、広報おつき10月号をご覧ください。

「令和6年度大月市一般会計歳入歳出決算認定」の件に対する討論

◆ 反対討論（要旨）

藤本 実 議員

「今年こそ大変だ」と5年間毎年言われ続けたが、普通会計の基金合計は、令和元年度25億円が令和6年度52億円に増加しました。この結果から、基金・積立金に回った分の一部は、市民サービスとして適切に市民に還元すべきだったと考えます。「お金があるのに無いと言って我慢を強いてきた」と判断し、決算認定に反対します。

◆ 賛成討論（要旨）

棚本晃行 議員

中学三年生の給食費の無償化等、各種事業の前進とともに、新たな資金調達手段や事業手法を活用し、市債等残高を11億3,963万円余減少させた他、基金の着実な増加が認められました。健全化判断比率の4指標も早期健全化基準を下回っており、財政の健全性・持続可能性も確保されていると判断ができることから本決算に賛成します。

決算審査特別委員会における主な論点 Q & A

道の駅について

Q 「持続可能な道の駅」とは具体的にどのようなことか。



A 総務省アドバイザーの助言を得ながら、収益性の確保や特産品・地場製品の充実、成功事例の視察研修などを通じて検討を進めています。地域資源が限られた地域においては、どのように商品開発を行うべきかといった課題についても助言を受けながら本市における持続可能な道の駅を模索しています。

インフラの維持・管理について

Q 令和6年度予算において農業施設の修繕費や原材料支給は足りていたか。要望に応えきれないものもあったか。



A 本事業は地元の要望に基づき県が事業化しておりますが、当初の計画に比べ資機材費や労務費の高騰により工事費が増額しております。市内の水路は老朽化に伴い更新の時期を迎え、各地域から改修に向けた強い要望も出ておりますので、県と新たな事業化に向けた協議を行っていきたいと考えています。

デマンドタクシーについて

Q デマンドタクシー実証実験で目的地まで行けるように出来ないか。また、タクシー券の補助は出来ないか。



A デマンドタクシーは、目的地までの移動を趣旨としておりません。公共交通全般で交通空白地帯や足の不自由な方々を含め、介護タクシー等が良いのか検討しております。路線バスで年間9,000万円を赤字補填し、スクールバスを含め2億円を富士急行株式会社に支払っており、課題を持っております。

庁内 DX 推進について

Q DXの推進について、現場のかじ取りのための取組みはあるか。



A 各課に、非効率に思っていることやDXにより利便性が高まることなど、アンケートとヒアリングを実施しました。広報おおつき9月号に掲載の「マイナ救急」の記事は、現場の声を拾いあげて取り組んだ事例です。各課の課題を解決し、より良いサービスが提供できる仕組みを検討しています。

大月駅北側の土地の活用について

Q 大月駅北側の活用を担当課ではどのように考えているか。



A 道路を拡幅することによって土地の利便性を向上させ利用価値を高めたいので、道路拡幅を優先したいと考えています。民間業者からの問い合わせもあるので、民間業者と連携しながら大月駅北側の整備を進めて行きたいと考えています。

ふるさと納税の今後について

Q 令和5年度に比べて、寄附者は減ったが、寄附額が増えている。今後どのように進めていくのか。



A 宝飾業者と連携して返礼品の品揃えを増やしております。また、付加価値の高い返礼品や天候の影響を受けない返礼品を増やしていきたいと考えております。加えて、これまでも行ってきた返礼品として、農産物を提供して下さる方々を増やす取組みを続けていきたいと考えております。

令和7年第4回（9月）議決結果等一覧表

賛成○

反対●

退席—

欠席／

※相馬力 議長を除く

| 種別 | 議案番号 | 議 員 名 案 件 名 | 萩 | 奥 | 小 | 山 | 藤 | 山 | 鈴 | 棚 | 山 | 鈴 | 鈴 | 天 | 結 果 |
|----------|-------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--------|
| | | | 原 | 脇 | 原 | 田 | 本 | 田 | 木 | 本 | 地 | 木 | 木 | 野 | |
| | | | 剛 | 一 | 丈 | 善 | 実 | 政 | 基 | 晃 | 渉 | 康 | 竜 | 築 | |
| 条例 | 第40号 | 大月市職員の育児休業等に関する条例中改正の件 | | | | | | | | | | | | | 可決 |
| | 第41号 | 大月市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件 | | | | | | | | | | | | | |
| | 第42号 | 大月市下水道条例中改正の件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 第43号 | 大月市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件 | | | | | | | | | | | | | |
| 補正 予算 | 第44号 | 令和7年度 大月市一般会計補正予算（第4号） | | | | | | | | | | | | | 可決 |
| | 第45号 | 令和7年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | | | | | | | | | | | | | |
| | 第46号 | 令和7年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 第47号 | 令和7年度 大月市簡易水道事業会計補正予算（第1号） | | | | | | | | | | | | | |
| | 第48号 | 令和7年度 大月市下水道事業会計補正予算（第1号） | | | | | | | | | | | | | |
| 決算 認定 | 認定第1号 | 令和6年度 大月市一般会計歳入歳出決算認定の件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| | 認定第2号 | 令和6年度 大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件 | | | | | | | | | | | | | |
| | 認定第3号 | 令和6年度 大月市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件 | | | | | | | | | | | | | |
| | 認定第4号 | 令和6年度 大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件 | | | | | | | | | | | | | |
| | 認定第5号 | 令和6年度 大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 認定第6号 | 令和6年度 大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件 | | | | | | | | | | | | | |
| | 認定第7号 | 令和6年度 大月市簡易水道事業会計歳入歳出決算認定の件 | | | | | | | | | | | | | |
| | 認定第8号 | 令和6年度 大月市下水道事業会計歳入歳出決算認定の件 | | | | | | | | | | | | | |
| 請願 | 第2号 | 学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採択 |
| | 第3号 | 訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書 | | | | | | | | | | | | | |
| 意見書 | 第2号 | 学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 第3号 | 訪問介護報酬の引下げ撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書 | | | | | | | | | | | | | |



9月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

市政を問う

代表質問

(1) 鈴木基方 議員 (自由民主党) 10 ページ

- ①本市における農業振興をどう考えるか
- ②「中世浅利氏と大月・浅利」からの考察と学術的価値・活用について

(2) 天野 築 議員 (大月の新しい風) 11 ページ

- ①初狩保育所の園児数の推計をどのように見込んでいるのか
- ②産休・育休後の復帰に際してのキャリア形成への配慮は

(3) 山地 渉 議員 (大月の新しい風) 関連質問 12 ページ

- ①市道南天神線浅利跨線橋の整備計画は
- ②大月エコの里地内の敷石群の活用方法は

(4) 棚本晃行 議員 (山と川の街大月) 13 ページ

- ①利用者を市民に限定しさらなる物価高騰対策を
- ②就学に係る保護者負担の軽減を

一般質問

(5) 藤本 実 議員 (日本共産党 所属) 14 ページ

- ①近隣市の状況を踏まえ冷暖房費徴収の取りやめを

(6) 鈴木康揮 議員 (公明党 所属) 15 ページ

- ①選挙時の投票立会人の負担軽減策について伺う
- ②公共施設周辺整備について伺う



市議会のページは
こちらから



大月市議会
YouTube
チャンネルは
こちらから

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。
詳しい内容については、会議録(12月上旬発行予定)を図書館及び市のホームページで閲覧することができます。また、大月市議会 YouTube チャンネルで映像配信も行っております。



自由民主党

すずき もとかた
鈴木 基方

Q 本市における農業振興を どう考えるか

A 次代を担う人材の確保が 急務

問 本市における農業振興をどう考えるか。

答 産業建設部長

農業振興を図る上で重要なものとして、担い手の発掘や農地の集約化、農地保全、農業所得の向上等が取り上げられます。本市の現状といたしましては、市内各所において年々耕作放棄地が増加し、従事者の高齢

化や後継者の不足により、将来に向けての継続が懸念されます。次代を担う人材の確保が急務となっております。

このような状況に鑑み、人材の確保を図るため市内農業法人などで農業協力隊を活用しておりますが、国内の農業生産に関わり専門的なノウハウを持つ民間企業の人材を受け入れて地域活性化を図る「地域活性化

起業人制度」を活用するため、9月定例会に補正予算を提出しております。

担い手の確保に向けては、首都圏という本市の地理的な利点を生かした農業体験による都市住民との交流機会の創出を図ることや、余暇を利用し農業に親しもうとされる方から生産を目的とする個人、法人等まで本市の耕作放棄地を活用して農業に取り組もうとされる人材を募り、山梨県農地中間管理機構や農地所有者と連携の上、積極的な農地貸付けの実施や、本市の助成制度を活用した新規農業者の開拓を行ってまいりたいと考えております。

Q 「中世浅利氏と大月・浅利」からの考察と 学術的価値・活用について

A 歴史的考察が進むことは大変意義のあるもの

問 学術論文、末木健氏「中世浅利氏と大月・浅利」で考察される岩殿城と浅利信種について。また、岩殿城を中心とした本市域の学術的価値とその活用について伺う。

答 教育次長

ご指摘の論文につきまして、広範な各種の資料を再検討し、新たな考察を進めたものであると認識しております。特に初狩・笹子の地域と推定される皇室領荘園の「波加利荘」が、室町時代から戦国時代への変遷とともに武田総領家の支配に移行しこの管理を家臣に命じていたとの考察は、この地域が武田直轄地であったこととなり、後北条氏との国境の要衝である岩殿城の整備・城番として、浅利信種をはじめ家臣を配置していたことの合理性が高まります。これらの武將は、岩殿城の登城口である浅利地区または岩殿地区に居住

していた可能性につながります。さらに、岩殿城の武田直営説は、本市内における当時の主要部分は小山田氏が領有する郡内領には属していなかったことにも発展する大変興味深いものであります。



浅利信種公の墓



大月の新しい風

あまの きずく
天野 築

Q 初狩保育所の園児数の推計をどのように見込んでいるのか

A 具体的な数値を示すことは難しい

問 初狩地区子育て応援施設整備事業について、5年後、10年後の初狩保育所に何人の園児が通っていることを想定しているのか。

答 市民生活部長

将来の園児数の見込みにつきましては、平成30年に

策定した幼稚園・保育所(園)の再編に関する市の方針において、当時の国勢調査や人口推計を踏まえた推計値を示し、一定の見通しを持つて整備方針を定めたところであります。しかしながら、その後の出生数の減少は、当時の想定以上に進んでおり、転入・転出や保護者の就労環境などによって

も変動するため、現時点で5年後、10年後といった具体的な数値を示すことは難しい状況であります。

本市といたしましては、公立ならではの役割や意義を総合的に考慮し、こども誰でも通園制度や一時預かり、育児相談の拠点として地域の子育てニーズに応えることに加え、発達支援や医療的ケアを必要とする子供や困難な家庭環境にある子供の受皿となる役割を果たすこと、さらに学童クラブとの合築により小学校との連携や保護者の利便性を高めることなど、多面的な機能を発揮することで、施設の持続的な価値を確保してまいります。



Q 産休・育休後の復帰に際してのキャリア形成への配慮は

A キヤリア形成に不利になるようなことは一切ない

問 女性管理職が、1人しかないという状況だが、産休・育休後の復帰時に、キャリア形成に不利とならないような配慮や支援はあるか伺う。

答 総務部長
職員の子の出産については、産休は産前6週、産後8週を特別休暇として、育休は女性、男性ともに子が3歳になるまで取得可能となっております。この間は、本市のみならず、育児休業等に関する法律及び条例では育児休業中も通常勤務していたものとみなし、復職時に昇給、昇格ともに調整しておりますので、男性、女性ともに育児休業取得によって復職時に、育児休業を取得していない職員と比較してキャリア形成に不利になるようなことは一切ございません。また、復職後においても、本定例会でも提案しているように、育児と仕事を両立するため、当該職員の請求により育児短時間勤務制度や部分休業制度の活用、時間外勤務を制限するなどの措置を講じることといたします。



大月の新しい風

やまじ わたる
山地 渉

Q 市道南天神線浅利跨線橋の整備計画は

A 今年度屋根の修繕を計画している

市道南天神線浅利跨線橋は、階段に設置されているポリカーボネートの波板が破れ、剥がれ、ガムテープで修理をしているところもあり、雪が降って階段が凍れば危険である。線路北側には駐車場が増え、この跨線橋の利用者も増えていると思われる。市として早急に整備するべきだと思うが、整備の計画について伺う。

答 産業建設部長

市道南天神線にある浅利跨線橋は、昭和45年に浅利踏切道の廃止決定に伴い、当時の日本国有鉄道において建設され、現在のJR中央本線及び富士急行線を跨ぐ

歩道橋として本市に移管されました。現在も、大月駅の南北を結ぶ重要な跨線橋として、多くの方が利用されており、これまでにも暴風等で屋根の一部が破損し、破片がJR中央本線や富士急行線の敷地内に落ちることがあり、その都度修繕してきております。修繕を実施するには、JR東日本の承諾が必要であり、既に4月から安全対策や実施方法等について協議を重ねており、JR東日本の承諾等が整い次第、今年度屋根の修繕を計画しております。

Q 大月エコの里地内の敷石群の活用方法は

A 敷石類に関する説明表示板をご提供する

問 梁川町の塩瀬下原遺跡で発見され、大月エコの里地内に移設した敷石群の今後の活用方法は。

と伺っており、郷土資料館より敷石類に関する説明表示板をご提供する予定であります。

答 教育次長

敷石のうち、特徴的な十字様の遺構を中心に令和4年度に郷土資料館の東側に移設・復元し、その際に復元が困難であった敷石類を保管しておりましたところ、NPO法人おつきエコビレッジより引き受けたことからの申し出を受けたことから、令和7年6月に引き渡したものであります。

同法人が運営する大月エコの里内で活用いただける



エコの里内敷石

その他の質問

問 破損・汚損している案内板の整備の予定は



山と川の街大月

たなもと あきゆき
棚本 晃行

Q 利用者を市民に限定しさらなる物価高騰対策を

A 11月からプレミアム付デジタル商品券を販売し物価高騰を支援していく

問

本年6月に実施されたキャッシュレス決済還元事業では、事業期間の短さや、ポイント還元率を上げてほしいなどの声も寄せられた。この事業の予算残額を活用し、利用者を市民に限定したさらなる物価高騰対策を実施する考えは。

答

産業建設部長

6月のキャッシュレス決済事業では、市外からの利用者も多く見受けられたことから、11月から12歳以上の大月市民に限定したプレミアム付デジタル商品券の販売を計画しております。事業の概要については、スマートフォンでPayPa

Yの本人確認をしていただき、大月市民と識別ができる方を対象とし、1口5、000円で6、500円分利用できるデジタル商品券を1人当たり最大5口まで合計1万口の販売を予定しております。また、デジタル商品券の購入及び利用期間は、年末年始を挟む11月から来年1月までの3か月間を予定しております。

デジタル商品券は、対象者が市民に限定されること、還元率の増加と利用期間の延伸により、物価高騰への支援が強化されること、国が推奨するキャッシュレス化の推進、さらに市内店舗において、市民のさらなる消費喚起につながるものと考えております。

大月市



大月市プレミアム付デジタル商品券（ポスター）

Q 就学に係る保護者負担の軽減を

A 保護者負担の軽減を8年度より導入、新入学用品費を9年度までに見直し

問

物価上昇により就学に係る家計の負担も増加している。入学に必要な費用の一部を援助する新入学用品費の見直しを図るとともに、学用品や補助教材等を学校備品として整備することなど、保護者の経済的負担軽減を図る取組を。

答

学校教育課長

準要保護者に対する新入学用品費について、増額幅を検討し、令和9年度入学に合わせ見直しを行ってまいりたいと考えております。議員からご提案をいただい

た学用品や補助教材等を学校備品として整備し、保護者の負担軽減を図ることにしています。現在準備を進めております。今後、学校間で同等の軽減内容になるよう、学校の状況に合わせた保護者の負担軽減の方法を令和8年度から導入できるように、さらに準備を進めてまいりたいと考えております。

その他の質問

- 問 市長の施政方針について
- 問 避難所の熱中症対策を
- 問 小規模水道等の今後の在り方は
- 問 高齢者のゴミ出し支援を



ふじもと みのる
藤本 実

日本共産党 所属

Q 近隣市の状況を踏まえ冷暖房費徴収の取りやめを

A 現段階では冷暖房費の無償化は考えていない

問

「使用料が高い」と2人から相談を受けた。大月市民会館では、使用料とは別に冷暖房費を徴収しているが、近隣市では徴収していない。そのため割高になっている。そのため割高になっていると思われる。市民サービスの水準は近隣市との比較で決まってくるので、見極め、近隣市の状況を踏まえ

冷暖房費徴収の取りやめを。

答 教育次長

市民会館の近隣市における類似施設である上野原市文化ホールは、平成16年6月に竣工、都留市まちづくり交流センターは平成25年3月までに大規模に改修しており、両施設ともに全館

空調であるため、使用料に含まれているとのことです。

大月市民会館は昭和55年に供用開始した施設であり、特に大型のボイラーにより冷暖房を行っております。

供用後、利便性向上を図るため、視聴覚室や研修室等を個別のエアコン空調へ改修してまいりました。このことから、利用する施設ごとに空調使用を選択できることとなっております。夏季、冬季は実費相当額の負担が発生いたしますが、中間期など空調を使用しない場合は費用負担がなく、近隣市の類似施設の使用料に比べ少額になる利点があります。供用開始から45年を経過する施設であるため、維持管理経費が増加する傾向である中、経費削減に努め運営しているところであり、また年間の使用料総額の約50%を減免している現状において、さらに減収となることから、現段階では冷暖房費の無償化は考えておりませんが、空調使用が選択

可能であるがゆえの使用控えや利用者への説明事務の負担などが考えられますので、適正な使用料徴収について今後も検討してまいります。

再質問

問

夏休みに、子供の居場所づくりや文化協会加盟団体等の展示会等がイベントとして企画できたら、猛暑を避けながら楽しい時間を過ごすことができる。夏休み期間中の市民会館冷房利用料を免除する考えはないか。

答 教育次長

クーリングシエルトは、熱中症特別警戒アラートが発表された場合に速やかに開放し、不特定多数の方を受け入れることとなるため、貸出対象施設ではない1階2階のエントランスホールや旧レストランなどを受入れエリアとしており、また

貸出対象施設でないことから、このアラートの発表にかかわらず、常時受入れが可能であります。いずれも使用料または冷房使用料の費用負担はありません。

冷房使用料は、4時間当たりで大ホールは3,000円程度のほか、各施設の規模に応じ、1,000円から2,000円程度の実費相当額の負担をいただくものであります。イベントはその内容によっては別途使用料減免を行うことが可能であり、負担軽減効果はより高くなると考えられます。



大月市民会館



すずき こうき
鈴木 康揮

公明党 所属

Q 選挙時の投票立会人の負担軽減策について伺う

A 負担軽減できるよう交代制度も含め慎重に検討

して引き上げたものの、投票管理者及び投票立会人の皆様の負担軽減は、今後の選挙執行の重要な課題であると考えております。

投票立会人の負担軽減策については、本年7月の参議院議員通常選挙にあつては、投票所へ移動式クーラーや扇風機、飲料水を持ち込むことなど、まずできる環境の整備に取り組んだところであります。また、公職選挙法等の規定では、途中交代が可能となっていることや、選挙人の投票に支障を来さないと認める特別な事情がある場合に限り、投票所を閉じる時刻を繰り上げることも可能とされております。今後は、交代制度も含め慎重に検討してまいります。

Q 公共施設周辺整備について伺う

予算の確保や修繕方法等を検討し実施できるよう進める

問 市民会館敷地内の通路の破損が放置されているように見える。郷土資料館の駐車場については白線が消え利用者が困惑しているが、今後の定期的な維持管理の計画はあるか。

市民会館敷地内の通路の破損が放置されているように見える。郷土資料館の駐車場については白線が消え利用者が困惑しているが、今後の定期的な維持管理の計画はあるか。

答 教育次長

現状の確認時期につきましては、数年前に猿橋公園内の清掃や除草等の管理を行う際に、駐車場一部の劣化は確認し、多数の施設を管理する必要があることから、経過を観察していた状況であります。

再質問

郷土資料館隣接駐車場の現状の確認時期はいつか。

答 産業観光課長

答 総務管理課長

投票立会人の拘束時間と実態について、どう認識しているか。また、投票立会人の負担軽減策について伺う。

投票管理者及び投票立会人の職務を行う時間については、公職選挙法の規定に基づき、

つき全ての投票所は午前7時に開き午後8時に閉じることが原則とされており、投票開始前の準備や終了後の片づけ等に要する時間を加えますと、午前6時30分頃から午後8時30分頃までの約14時間に及ぶものであります。

今回の参議院議員通常選挙から、その報酬につきま

市民会館の出入口周辺のタイル舗装部分につきましては、破損箇所は、今月2日に対応済みであります。郷土資料館に隣接する駐車場につきましては、猿橋公園の駐車場として産業観光課が管理する行政財産となっており、白線の消滅とアスファルト舗装が劣化していることを確認しており、予算の確保や修繕方法等を検討し、実施できる



猿橋公園駐車場

議会日誌

8月（後半）

| | |
|-----|----------------------|
| 18日 | 大月都留広域事務組合議会 |
| 20日 | 議会運営委員会 |
| 27日 | 全員協議会 |
| | 令和7年第4回（9月）市議会定例会 開会 |
| | 決算審査特別委員会 |

9月

| | |
|-----|----------------------|
| 10日 | 代表質問・一般質問 |
| 12日 | 総務産業常任委員会 |
| | 市議会広報委員会 |
| 16日 | 社会文教常任委員会 |
| 17日 | 決算審査特別委員会 |
| 18日 | 決算審査特別委員会 |
| 19日 | 決算審査特別委員会 |
| 24日 | 議会運営委員会 |
| | 全員協議会 |
| | 令和7年第4回（9月）市議会定例会 閉会 |

10月

| | |
|-----|----------------------------|
| 21日 | 議会運営委員会議員研修会 |
| | 議員定例懇談会 |
| 28日 | 市議会広報委員会 |
| 29日 | 山梨県市議会議長会 第274回定期総会 |
| 30日 | 山梨県後期高齢者医療広域連合議会 |
| | 意見交換会（ふるさと納税農作物返礼品生産者×市議会） |

※ 議員は、あいさつ状（年賀状など）を出すことが公職選挙法で禁止されています。（自筆による答礼は除く）

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様にも親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

あなたも傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

12月定例会の日程（予定）

| | |
|------------|--------|
| ●開会日 | 11月27日 |
| ●代表質問 | 12月10日 |
| ●一般質問 | // |
| ●一般質問（予備日） | 12月11日 |
| ●総務産業常任委員会 | 12月12日 |
| ●社会文教常任委員会 | 12月15日 |
| ●閉会日 | 12月17日 |

※ 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

第4回大月市議会定例会において、消防団員の報酬等を増額する条例改正を行いました。しかし、大月市の実態は国の基準にはまだ届いていません。加えて、地域間の事情から消防団の再編も進みづらい状況です。市議会としてこの課題を放置できないとの思いから、「消防団の今後のあり方調査研究部会」を設置しました。今後、報酬水準や組織体制などを研究し、持続可能な消防団の実現に向けて取り組みます。

（担当：鈴木竜児）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



議会事務局メール
QR

市議会
広報委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 天野 築 |
| 副委員長 | 藤本 実 |
| 委員 | 鈴木 基方 |
| 委員 | 山地 渉 |
| 委員 | 鈴木 康揮 |
| 委員 | 鈴木 竜児 |



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。